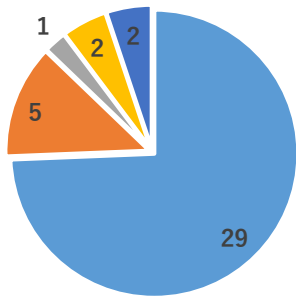


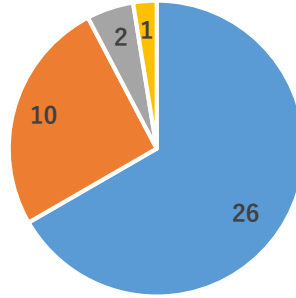
# 夏季研修アンケート結果（回答数39）

## 0. 所属支部



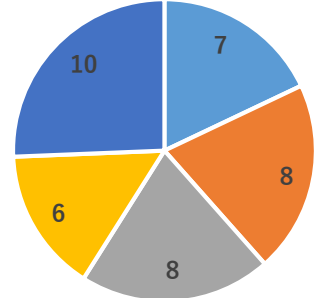
■ 岡山 ■ 倉敷 ■ 備前  
■ 赤磐 ■ 鳥取

## 1. 役職



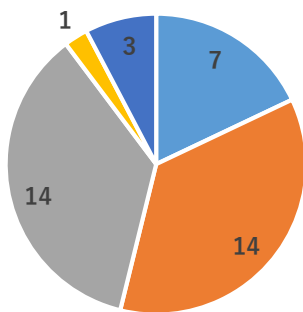
■ 教諭（再任用含む）  
■ 常勤講師  
■ 管理職、行政職  
■ その他

## 2. 経験年数



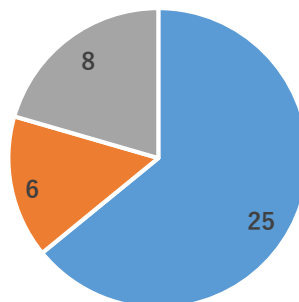
■ 3年以内  
■ 4年～10年  
■ 11年～20年  
■ 21年～30年  
■ 30年以上

## 3. 担当通常クラス数



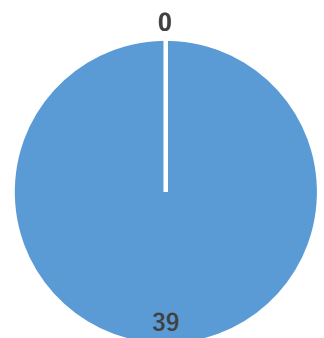
■ 4～8クラス  
■ 9～12クラス  
■ 13～18クラス  
■ 19クラス以上  
■ なし

## 4. 担当特支クラス数



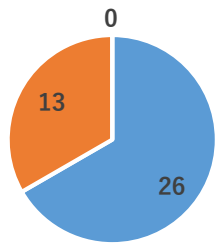
■ 1～3クラス ■ 4～6クラス  
■ なし

## 5. 勤務（兼務）校数



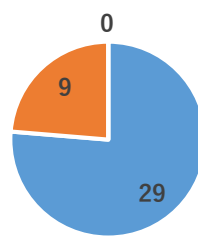
■ 1校 ■ 2校 ■ 3校

## 6. 講義一理論



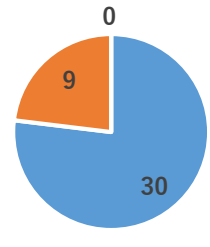
- 大変よく理解できた
- 理解できた
- あまり

## 7. 講義一評価



- 大変参考になった
- 参考になった
- あまり

## 8. 講義一実践例



- 大変参考になった
- 参考になった
- あまり

本当に勉強になりました！二学期からの授業が楽しみになりました！夏休み、教材研究、頑張ります！

指導と評価の一体化についてが特によくわかった。

日々の実践を見直す良い機会になったと感じました。他校の先生と話し合う時間も多く、意見の共有もでき、新しい気づきがありました。またこのような会があれば嬉しいです。

いいお話が聞けて、勉強になりました。

大変勉強になりました。

大変共感する内容でした。共通事項の重要性や新学習指導要領における観点の変更に関すること、学習目標に関する表などがとてもわかりやすくまとめられていたと感じました。生徒の活動を見取り、指導と評価の一体化を図る部分も共感することが多かったのですが、一点自分と違うと思いました。見取りのためには作品だけではなく、生徒の表現に対する狙いや狙いや細かい部分の工夫、こだわりを教師が見取る必要があります。大学の卒業展であれば、卒論発表と作品がセットになっているように、作品とその背景がセットで扱ったときに、正式に評価に値する見取りができるものであると認識しています。なので、作品を持ち寄って講評しあう中で教師が「勝手に」評価をしてしまうのは生徒が作品に詰め込んだ想いとは別の視点で評価を下すことになるため、作者不在、もしくは作者が自らの作品について語っていない中で美術批評家が作品を評価しているようなものであると思います。なので、私は振り返りシート（レポート・ポートフォリオ）&作品をセットで評価し、制作過程そのものを評価することが大切であると考えます。

とてもわかりやすかったです。改めて考えさせられることが多くありました。生徒に美術の授業の大切さを知ってもらうような授業づくりをしていかなければいけないなと思いました。具体的な事例も出して頂き、自分もやってみようと思います。ありがとうございました。

中学校美術科の存在意義について、今までよりは自分の中で持てるようになった気がします。美術の授業で大切にしたい事、生徒たちに美術科でどのような学びをしたか実感してもらえるように心がけたいと思いました。美術科の役割を具体的に教わる事ができて良かったです。

美術教育の必要性を改めて感じました。多面的な物の見方をすることで感性が磨かれ、生活を豊かにするものになると思います。研修会に参加させていただきありがとうございました。

アンテナをたてる授業がたいせつなのは感じています。生徒の将来的にアンテナで受け取ったことを必ずしも表現しないとおもいます。また、表現するにしても短歌とか文章とか音楽とか写真も含めて表現が多種多様です。そうしたときに美術の授業でアンテナを立てる授業の上に表現させること（表現しないとアンテナは立たないのか？）がわかりません。漫画表現の素晴らしさはわかった・・・では、漫画表現で描くことがすべての生徒に求める力として必要なのか？おそらく漫画の魅力はわかって素晴らしいと思うとおもいますが・・・ほとんどの生徒は漫画を描かないのでは・・・（例）表現者として描かせる必要があるのか？多くの人はアンテナ多く受け止めることの大切さはわかって、表現までする人は少ないのでは？きれいな景色をみてきれいと思えば表現する必要はあるのか？授業では表現をさせていますがそのことの大切さとは？考えながら作ることが大切といわれますが。不器用な人にとっては苦痛なのでは？藤井聡太さんの嫌いの原因は、必ず表現しなければならないその理由が見いだせていないからではないかと思います。時間がないので研修の最後に質問しなかったのですが。最近の考えるポイントです。表現させることに重きをおきすぎではないかと・・・

昨日はありがとうございました。村上先生のお話を聞き、経験の豊富な先生方の美術や評価についての考えをお聞きでき、それらを何度か繰り返すことでより深い学びに繋がったように感じます。貴重な機会となりました。

必須教科の「美術」として大切にすることを、整理することができました。評価についても実際にどのような視点で授業を組み立て、子どもたちに関わって行くかをイメージすることができました。貴重な研修でした。ありがとうございました。

3本立てのどの内容もとても勉強になりました。わかっているつもりでも改めてふかめることができました。また、この会の開催にあたり、準備・企画とう膨大な時間を労力をかけてくださったことに心から感謝しています。本当にありがとうございました。藤本

美術という教科の意義やあり方について考え直すきっかけになりました。日々漠然と考えていたことについても少しは答えが見つかったような気がします。ありがとうございました。

大変わかりやすい講義をありがとうございました。勉強が必要なのもよくわかりましたが、こうした理解を重ねることこそが子どもたちへの学びへと繋げるきっかけになるのではないかと思います。

今回の研修は貴重な時間を過ごすことができました。本当に感謝いたします。第1回の岡山市内での研修に参加できていなかったのが、この機会に講話を聞くことができ非常に良かったです。今まで、疑問に感じていても日々流れていっていたことが、クリアになった感じがいたします。また、村上先生にはこちらの思いを丁寧に聞いてくださり、ありがとうございました。運営・事務局の皆様のお忙しい中、準備等大変ありがとうございます。

ただ、作品を作るだけでは、造形を捉える視点、考える視点が育たないことがわかりました。作品を完成させることがゴールにならないように気をつけたいと思います。

C評価の生徒に対する働きかけ、に関しての指導についてももう少し詳しく聞きたいと思った。また、現在、管理職で評価を行うことはないが、評価と評定の関連性について3観点になって、どの教科も説明しにくいと感じる。

①実践発表次の授業でいかせるので助かる。おもしろい実践。②難しいと思うが実践したものを持ち寄って評価の標準会みたいのをするとお互い力になる。

造形を捉える視点や考える視点を豊かにし、それを育てることができる唯一の教科ということが自身を持って言えるようになった。とても良い研修内容だった。

美術科で育成する脂質や能力について、具体例を上げていただきながらわかりやすいご説明ありがとうございました。質問ですが、共通事項は技能との関連付けだけでよいのでしょうか。発想構想の能力、鑑賞の能力において、造形的な視点によって、感じ取ったイメージの根拠を言語化したり、表したいイメージ（言語）を造形要素の効果を考えながら構想を練るのではないのでしょうか。第2観点での共通事項の取り扱いについて教えてください。

とても分かりやすく、為になりました。ありがとうございました。

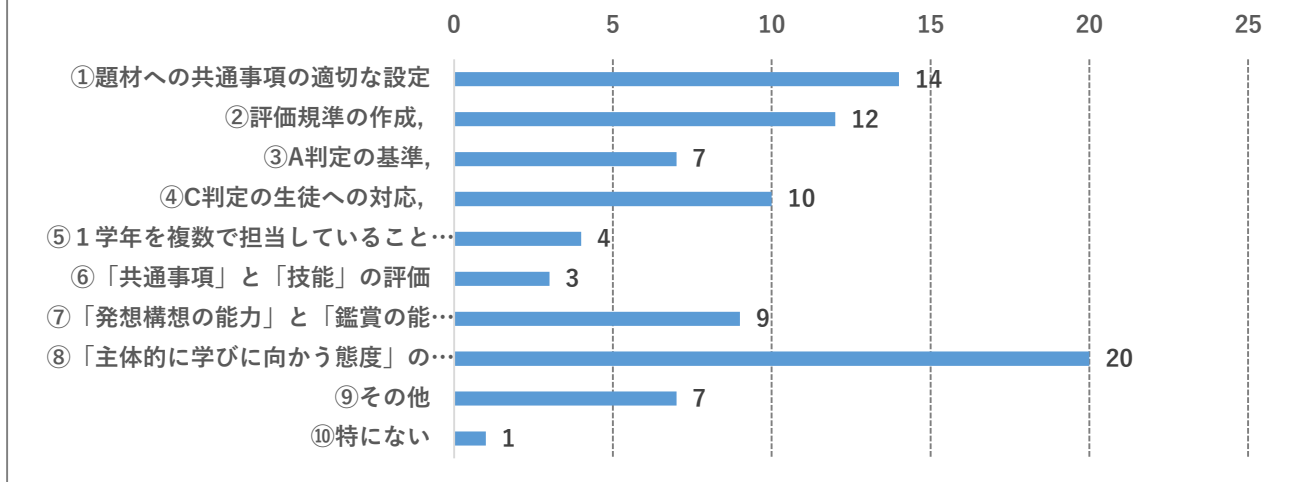
3年間で造形を捉えるアンテナをたくさん立てられるように、年間指導計画を工夫していきたいと思った。研修の準備企画事前打ち合わせなど、今回の研修のために膨大な時間をさいてくださりありがとうございました。どの内容も濃く一つ一つまだまだじっくりきかせていただきたかったです。学びになることばかりでした。

二度目なので理解しやすかったです。近くの方と話しながら学べたことも大きかったです。話し合い、ではなくて対話って大切ですね。

「主体的に学習に取り組む態度」の観点では、粘り強さや自己調整力から評価をしますが、他の観点と比較して明確な基準をつけにくく、いつも悩むところになっています。わかったようでまだわかりきれていない部分がありまだ研鑽を積まなければと日々感じています。村上先生のご説明を振り返りながら2学期も頑張ってみようと思います。

村上氏が先生役で受講者が生徒役で実際に授業を受けてみたいです。

## 9.課題や悩み



|                        |  |
|------------------------|--|
| <p>①題材への共通事項の適切な設定</p> | <p>*①共通事項を学ばせるための具体的な題材設定の様々な具体例を知ることができると、授業づくりの参考になります。短時間の扱いのものがあるといいと思います。</p> <p>*表現させることに対しての上手下手の考え方がどうしてもアンテナを立てることと矛盾しているような気がします。</p> <p>*題材の中で、共通事項を評価に組み込む際に、教師によって差が出るのだろうか、という疑問。</p> <p>*①造形をとらえるアンテナは、多く立てるほうがよいと思いますが限られた授業時数の中ですべてを網羅するのは難しいと感じています。</p> <p>*アンテナをたてる授業がたいせつなのは感じます。生徒の将来的にアンテナで受け取ったことを必ずしも表現しないとおもいます。また、表現するにしても短歌とか文章とか音楽とか写真も含めて表現が多種多様です。そうしたときに美術の授業でアンテナを立てる授業の上に表現させること（表現しないとアンテナは立たないのか？）がわかりません。漫画表現の素晴らしさはわかった・・・では、漫画表現で描くことがすべての生徒に求める力として必要なのか？おそらく漫画の魅力はわかって素晴らしいと思うとおもいますが・・・ほとんどの生徒は漫画を描かないのでは・・・将来きれいな景色をみて感動する心はわかるのですがおそらくスマホで写真を撮影するのは・・・絵筆まで持つ生徒がほとんどいないなか授業の多くの時間をかけて描かせることへの疑問があります。（例）表現者として描かせる必要があるのかがこのことがすべての生徒につける力なのか？</p> <p>*①適切な設定の具体例など有れば、授業内容の方法の着眼点として多面的に捉えることができ、より良い授業改善につながると思うから。</p> |
| <p>②評価規準の作成</p>        | <p>*② 長年評価をつけてきた先生方がどのようにされているのを知りたい。</p> <p>*②当初こちらのイメージがあるが生徒の作り始めできあがったもので決めることが多い。AとBの差でAが4～5割程度。</p> <p>*②基準が示されていると評価に自身を持つことができると思うから。</p> <p>*②指導と評価に関する資料にある評価規準の文言はどこまでカスタマイズして良いのか。担当している生徒の実態を考えると、あのままではCの生徒ばかりになり、その手立てを講じるのが大変です。</p>   |
| <p>③A判定の基準,</p>        | <p>*③ ②とからむ部分もあるが、おもいとしては2割程度ですが評定をつけるにあたりだいぶ広くつけている。</p> <p>*③私はAの判定基準を、「〔共通事項〕の内容を効果的に活用できているか」においているが、それは適切か？</p> <p>*BとAの基準がむずかしく、しっかり設定していても人によってBとAラインがぬるいからい結果的に評価に差が出ているのをなんとかしたい。</p> <p>*CとBの基準は取りやすいが、AとBの基準設定に迷う。</p>  |
| <p>④C判定の生徒への対応,</p>    | <p>*④どうやってもやる気が出ない生徒にも描いてほしいのですが、。</p> <p>*④C判定になる生徒への声掛けが難しいと感じています。特に主体性がCの生徒(内職をする、寝る、おしゃべり等)に対して「興味の持てる題材」を設定することが求められますが、それだけではカリキュラム的には厳しいです。声掛けや流れの工夫などがあれば知りたいです。</p> <p>*何もしようとしない無気力な生徒が参加できるような題材や支援方法を知りたい。</p> <p>*学ぶことが楽しいから授業にやってくる子、を育てたいと考えているのです。ある程度形になってきたと考えていたのですが、ここに来て大きな壁にぶつかっています。題材の工夫が肝だとおもうのですが、。</p> <p>*④通常学級生徒でC判定の生徒に、いかに意欲をもってもらうか難しいです。</p> <p>*④様々なCのケースがあると思います。長欠気味の生徒や不登校の場合、学校で授業を受けていないので、オールCなんてことは当然あると思います。ですが、何か手立ては、あるのでしょうか？</p> <p>*④ C評価の生徒をどこまで拾うか。*****</p>   |

|                         |   |
|-------------------------|---|
| ⑤ 1 学年を複数で担当していることで生じる差 | <p>*⑤同じ学年だけでなく、他学年であったとしても評価基準であったり、指導のスタイルの根本的な隔たりを解消することが必要であると感じています。「主体的な学習」の捉え方も各教科でばらばらで、依然として旧学習指導要領と大して変わらない評価方法で主体性を発揮できないような内容で「学習態度」を評価している教師も多いと感じています。「主体性」が教師のマインドセットになった瞬間に、全てが変わっていくと思いますが、まずその点において大きな障害が学校教育界隈には存在していると感じています。そういうこともあるため、観点別評価や評定といったものについて一旦ゼロベースで考え直したり、生徒の学びに対する主体性を信じて学校間で格差が出てしまう評価というものをなくしてしまい、AIとルーブリックを活用して、生徒が納得できる達成状況の把握（通知表というシステムの見直し）であったり、自己評価を中心とした評価システムであったり、成績よりも実績（社会的な貢献や起業して取り組んだこと、自分自身のwell-beingを促進できた活動など、主体性を発揮して取り組んできたかなど）を重視するような学習のシステムを考えていく必要があると考えています。</p>   |
| ⑥「共通事項」と「技能」の評価         | <p>*⑥ [共通事項]の内容をある程度は取り出して指導するほうが、生徒たちも理解しやすいのではないかと。ただ、たとえば、色の三要素だけ理解させて終わるのはなく、題材の中で関連付けて行うのは当然。</p> <p>*⑥設定の具体例などを学ぶことで、授業内容の方法や評価の着眼点として多面的に捉えることができ、より良い授業改善につながると思うから。</p>  |
| ⑦「発想構想の能力」と「鑑賞の能力」の評価   | <p>*⑦「発想構想の能力」「鑑賞の能力」の評価は、数値化されるものではないのでつけ方が難しい。特に鑑賞の能力は、心で感じ取っていても文章を書くのが苦手で見とれない場合も出てくると思う。そのあたりが知りたい。</p> <p>*⑦題材によって悩ましいところがあります。得意「デッサン」の発想構想とか。</p> <p>*⑦ 発想構想を子どものどこから見取るのか。</p>   |
| ⑧「主体的に学ぶに向かう態度」の評価      | <p>*静かに授業を受けている生徒、短時間で仕上げってしまう生徒、アイデアを練るのに時間がかかり作品が思うように仕上げられなかった生徒など、学びに向かう態度の評価でどう差がつくのか。</p> <p>*どのくらい「意欲的に取り組もうとしている」のか、「～に関心をもっている」のか等、判断し評価するのは難しい。明らかにやる気のない生徒以外ほとんどの生徒は、自分なりに一生懸命頑張っているつもりなので。</p> <p>*「主体的に学ぶに向かう態度」の評価について自信がありませんでした。村上先生が教えてくださった座席記録用紙を使用して記録を残し、改善していこうと思います。</p> <p>*主体の評価が正直、感覚になっている</p> <p>*提出物や忘れもののみでつけないが、授業中の見取りとふりかえりでつけてはいますが...</p> <p>*主体的に「A」がつく場合の認識が、学校内で教科によって差があるので、校内で共通理解できるよう、しっかりと自身と説得力をもって説明できるようになりたい。</p> <p>*主体的に学ぶに向かう態度の評価について、もっと具体的な方法を知りたい。</p> <p>*主体的に～は、日々の記録や振り返りなどだとは思いますが、ここがどう判断すればよいのかと、結構悩みに繋がっているように思っています。</p> <p>*⑧主体的観点で評価する評価材料が少なく、困っています。振り返りシート、鑑賞プリント、授業の様子などで評価しています。他の先生方の評価方法について知りたいです。</p> <p>*第3観点の基準が自分自身はつきりしないときがあって、グレーゾーンで判断に迷うときがある。</p> <p>*⑧「主体的に学ぶに向かう態度」の評価は、どのようなつけ方をされているか他の先生方のやり方をお聞きしたい。*主体的に学習に向かう態度は、どのタイミングで評価するのか</p> <p>*⑧特に、授業中の即時な評価をする内容は？（いまは、あとで振り返りシートやワークシートの内容から評価する事が多い。）</p> |
| ⑨その他                    | <p>*生徒数が多いので、生徒全員の作品をきちんと記録して、効率的にデータしておく方法がまだ見つけられていない。</p> <p>*若い人はこれが困るだろうと、いろいろ気を使ってくくださるが、本当はどんなことに困るのか意思疎通をするのが難しいですね。</p> <p>*働き方。いい授業をしようと思える環境づくり</p> <p>*授業内でのChromebookやデジタル教科書の活用方法</p> <p>*評価者による評価の差。保護者に文句を言われたいためか、5と4のみ評定を出す美術科の教員も残念ながらいるようである。全職員が正しく研修を受けてほしいと感じる。</p> <p>*「学びを高めるための授業展開」 ICTの有効活用・発想構想のための時間と実際に作品制作による体験するための時間をどのように短い時間で組み合わせていくか</p> <p>*講師非常勤講師への内容伝達ができていない</p> <p>*岡山市は仕事が多くて、今後もこれを維持していけるのか。</p> <p>*いろいろな題材を知りたいです。 *技能の指導方法 *様々な題材（実践例）を知りたい</p> <p>*各校で評価の判定基準の違いについての市教委の考え方をしりたい。 *⑨どんな定期テストをつくってますか？</p> <p>*今後の学習指導要領の改編についての見直し</p> <p>*たとえば、81%でAAA-5の生徒と、78%B99%A98%A-4の生徒のように、なんとなく全体的にまあできる子が5になっていて本当に良いのか悩んでいます。</p> <p>*いい授業をしようと思える環境づくり</p>   |

# 来年の県大会での貴重なデータになります。

本日はご参加ありがとうございました。お疲れのところ大変恐縮ですがアンケートにご協力ください。以下の内容は、右のQRコードを読み取り、入力フォームにアクセスしてご回答ください。8月4日(金)までのご回答にご協力くださると助かります。

なお、FAXでの提出は、以下の様式にご記入(筆圧強めに)いただき、

086-942-6288 旭東中・辻 へ、送信票不要でお願いいたします。



|  |                  |                   |               |
|--|------------------|-------------------|---------------|
| 0. 所属支部をご記入ください。   | 支部               | その他               |               |
| 1. 職種を選んでください。<br>①教諭(再任用) ②常勤講師 ③非常勤講師 ④臨免許/免許外 ⑤管理職・行政職 ⑥その他             |                  |                   |               |
| 2. 経験年数_____   | 3. 担当通常クラス数_____ | 4. 担当特支援クラス数_____ | 5. 勤務校数 _____ |
| 6. 理論編についていかがでしたか?<br>A 大変よく理解できた      B 概ね理解できた      C あまり理解できていない        |                  |                   |               |
| 7. 実践編(評価)についていかがでしたか?<br>A 大変参考になった      B 概ね参考になった      C あまり参考にならなかった   |                  |                   |               |
| 8. 実践編(実践事例)についていかがでしたか?<br>A 大変参考になった      B 概ね参考になった      C あまり参考にならなかった |                  |                   |               |
| 9. 研修内容に関するご感想やご質問・今後の研修内容の希望など  |                  |                   |               |

来年度の県大会では、平田朝一氏 村上尚徳氏 田井良和氏をお迎えし、パネルディスカッションを行う予定です。授業づくりや評価をしていく上で抱えている現場の課題や悩みを聴いていただき、参加者のみなさんとともに考える場を作りたいと考えています。

|   |  |
|---|--|
| 10. ①~⑩のうち現段階でのご自身の取り組みについての課題、困り感などありましたら、該当する項目を選んでください。(複数選択可) | 11. 左でチェックした項目について、課題やお悩みについて具体的に記述してください。 |
| <input type="checkbox"/> ①題材への共通事項の適切な設定                          |  |
| <input type="checkbox"/> ②評価規準の作成                                 |  |
| <input type="checkbox"/> ③A判定の基準                                  |  |
| <input type="checkbox"/> ④C判定の生徒への対応                              |  |
| <input type="checkbox"/> ⑤1学年を複数で担当していることで生じる差                    |  |
| <input type="checkbox"/> ⑥「共通事項」と「技能」の評価                          |  |
| <input type="checkbox"/> ⑦「発想構想の能力」と「鑑賞の能力」の評価                    |  |
| <input type="checkbox"/> ⑧「主体的に学びに向かう態度」の評価                       |  |
| <input type="checkbox"/> ⑨その他                                     |  |
| <input type="checkbox"/> ⑩特にない                                    |  |
|   | 12. 左でチェックした項目について、課題やお悩みについて具体的に記述してください。 |
|   | 13. 左でチェックした項目について、課題やお悩みについて具体的に記述してください。 |